

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
ついたて	小	5年 学年活動 (図工)	河合 堤

<ねらい>

- 日常で使用するものを自分たちで作る。
- 腕を大きく動かして、塗り残しのないよう、刷毛やローラーで塗る。
- 紙の端と端を合わせて折ったり、たたいて折り目をつけたりする。
- 霧吹きや色水で紙を染め、色の変化を味わう。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- ①大きな段ボールを刷毛やローラーで塗る。
児童の課題によって、「大きく腕を動かす」「塗り残しのないよう、すみずみまで塗る」などに留意しながら進めた。大きな面に思い切り塗ることができるので、児童も面白さを感じて積極的に塗ることができた。
- ②障子紙を染める。
 - (1) 障子紙を折る
端と端が合わせられる児童は、合わせて折ることに留意した。四角や三角など形にも気をつけるよう言葉かけした。たたいて折り目をつけたり、折り目を指でなぞったり児童によって取り組み方を変えた。
 - (2) 色水を作る
混色の面白さがわかる児童は、自分で絵の具を出し、色を混ぜることにも取り組んだ。
混色が難しい児童は、絵の具を入れたペットボトルにじょうごで水を入れ、「ジュースを作ろう」と振って色の変化を楽しんだ。
 - (3) 紙を染める
霧吹きで色水を吹き付けたり、色水の中に紙を入れたりして染めた。
- ③気球と花に紙を貼り付ける。
気球は児童がはさみで線の通りに切り取り、四角に切った染め紙を貼った。
花は、教師が花の形を切り抜き、ちぎった染め紙を貼り付けた。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- ②③は、課題別に二つのグループに分かれて行ったので、児童の課題により合った活動ができた。

<その他(材料、費用、購入先等)>

障子紙・絵の具・画用紙



